

(参考) 観光文化スポーツ部



事業名	食品事業者基盤強化事業		担当	食品工業チーム		
事業年度	令和4～	事業主体	県、(公財)あきた企業活性化センター	当初予算額	4,000 千円	
事業目的	本県食品製造業における事業活動の中核を担う人材の育成や生産性向上に向けた事業者間連携や先進技術導入等への支援を行うことにより、事業基盤と競争力の強化を図り、賃金水準の向上に寄与する。			財源	一般	4,000 千円
				財源		
				財源		
				財源		
実施内容	1 食品産業人材育成事業			2,939千円		
	<p>県内食品製造事業者の生産性向上や営業力強化に必要な講座等を実施し、県内食品製造事業者の人材育成と事業者間連携に向けた意識を醸成し、収益の向上に寄与する。</p> <p>また、AI、IoT等先進技術導入を促進し、製造コスト削減、担い手不足の解消を進めていく必要があるため、デジタル技術に関する特別講座の実施及び修了者のフォローアップを実施する。</p> <p>(1) あきた食品事業マネジメント力講座の開催 (合計18講座)</p> <p>①実施内容 マーケティング、販売戦略、製造マネジメント</p> <p>②開催時期 令和5年7月～10月</p> <p>③開催場所 秋田県生涯学習センター</p> <p>(2) 特別講座 (デジタル技術の活用) の開催</p> <p>①開催時期 令和5年10月頃を予定</p> <p>②開催場所 秋田県生涯学習センター</p> <p>(3) 受講者へのフォローアップ</p> <p>訪問等による受講者及び過去受講修了者へのフォローアップを実施</p>					
実施内容	2 食品事業者生産性向上支援事業			1,061千円		
	<p>県内食品製造現場における生産性の向上を図るため、トヨタ自動車東日本(株) (以下「TMEJ」という。) の協力のもと、改善活動を支援するとともに、その活動を普及啓発する。</p> <p>(1) TMEJによる訪問及び助言指導</p> <p>①実施内容 1回2日間7時間程度 × 11回 (月1～2回)</p> <p>最終報告会 令和5年11月頃を予定</p> <p>②支援対象 1事業者</p> <p>③実施主体 (公財)あきた企業活性化センター</p> <p>(2) 改善活動啓発セミナー</p> <p>①実施内容 TMEJ担当者の講演の他、前年度支援事業者の事例紹介</p> <p>令和5年11月頃を予定</p> <p>②実施主体 (公財)あきた企業活性化センター</p>					

事業名	秋田の食をリードする食品事業者支援事業		担当	食品工業チーム
事業年度	令和5～	事業主体	県	当初予算額
				38,318 千円
事業目的	売上げ規模20億円以上の事業者を増やすことを主眼とし、県内の食品産業を牽引するリーディングカンパニーを創出するとともに、事業者間連携を促進し、食品事業者の事業基盤と競争力の強化を図る。		財源	諸収入
			内	一般
			訳	
				18 千円
				38,300 千円
実施内容	1 食品事業者連携促進事業			5,340千円
	食品産業施策の総合窓口として伴走コーディネーターを配置し、リーディングカンパニーをはじめとする事業拡大を目指す事業者への伴走支援を実施するとともに、食品事業者の連携を促進する。			
	(1) 伴走コーディネーターの配置 伴走コーディネーター(1名)を配置し、食品産業振興に関わる観光文化スポーツ部・農林水産部・産業労働部の3部連携を促進するため、各部局で実施している食品産業施策を調整し、その実施をコーディネートする。			
	2 食のリーディングカンパニー育成支援事業		32,408千円	
	経営規模の拡大や生産性向上による賃金水準の向上及び企業価値の向上に資する取組等に要する経費を助成する。			
	(1) 補助対象			
	①通常枠(概ね20億円以上の売上規模を目指す事業者:2件程度)			
	ア 上限額 1,000万円			
	イ 補助期間 1事業者当たり最長2年間			
	②次世代ユニコーン事業者枠(以下「ユニコーン枠」という。)			
	(概ね10億円以上の売上規模を目指す事業者:2件程度)			
	ア 上限額 400万円			
	イ 補助期間 1事業者当たり最長2年間			
	③若者枠(1年以上の事業実績がある若手事業者等:1件程度)			
	ア 上限額 400万円			
	イ 補助期間 1事業者当たり1年間			
	(2) 補助率 2/3以内			
	(3) 対象経費			
	①通常枠・ユニコーン枠 新商品開発経費、販路拡大経費、生産性向上経費 等			
	②若者枠 ビジネスアイデアの実現に向けた設備整備費			
	(4) 交付要件			
	5年間で次の基準を達成する事業計画であること(若者枠は交付要件を緩和)			
	①労働生産性が年平均3%以上増			
	②給与総額及び初任給の伸び率が年平均1.5%以上増			
	3 食品事業者クリエイティブ支援事業		570千円	
	(1) 交流会の開催			
	食品事業者同士や異業種との連携・協業の取組を推進するための交流会を開催する。			

事業名	時代に対応する新たなコメ加工産業創造事業			担当	まるごと売込みチーム	
事業年度	令和3～5	事業主体	県、民間事業者	当初予算額	7,835 千円	
事業目的	あきたコメ活プロジェクト推進協議会の運営を支援するとともに、「サキホコレ」や新たな消費ニーズに対応した商品開発実証及び商品評価・改良検討会の実施と販路拡大支援により、コメ加工商品の製造出荷額拡大と食品産業の振興を図る。			財源内訳	国庫	3,669 千円
					一般	4,166 千円
実施内容	1 あきたコメ活プロジェクト推進協議会の運営支援				168千円	
	(1) 協議会の開催 6月上旬、1月下旬 (2) 開発商品発表会等の開催					
実施内容	2 開発商品販路拡大支援事業				7,667千円	
	(1) 新商品開発を行う事業者への支援 意欲的に商品開発に取り組む食品事業者に対し、商品企画から試作、パッケージ、商流の検討など、段階に応じて専門家を活用したサポートを行い、円滑な商品開発を支援する。 ①専門家による助言指導（現地訪問またはオンライン） ②対象5社 (2) 首都圏への販路拡大支援 「サキホコレ」等の新商品を首都圏で開催される展示会への出展や、県内外で開催する「コメ活フェア」、「米どころ秋田フェア」により、販路の拡大と県産コメ加工品の認知度向上を図る。 ①首都圏で開催される展示会への出展による商談支援 ②県内外量販店等での販促活動					

事業名	あきたの食アップサイクルモデル推進事業			担当	まるごと売込みチーム	
事業年度	令和5	事業主体	県、民間事業者	当初予算額	9,501 千円	
事業目的	食品製造過程で生じる副産物を活用したヘルスケア商品の開発や販路拡大、清酒製造の工程で発生する酒粕等の副産物を活用した酒づくりの実証などにより、県産食品のイメージアップと付加価値向上による競争力強化を図る。			財源内訳	国庫	2,092 千円
					諸収入	1 千円
					一般	7,408 千円
実施内容	1 資源循環型酒造りモデル実証事業				4,513千円	
	清酒造りの過程で発生する酒粕等を原料とした肥料、堆肥による酒米の生産実証と試験醸造を行い、地域の資源循環により醸造された清酒のブランド化を図る。 (1) 資源循環型酒造りモデル実証 (2) 酒粕堆肥の製造					
実施内容	2 食品産業副産物利活用加速化事業				4,988千円	
	米糠、酒粕、大豆種皮など、食品製造過程で生ずる未利用・低利用資源（副産物）を活用した秋田オリジナルの保健機能食品（素材）の開発や販路開拓等を支援する。 (1) ヘルスケア産業創出に向けた機能性食品素材研究会活動の充実・強化 ①素材企業と需要企業のマッチング ②研究会を通じたヘルスケア製品の開発支援 ③機能性に関する情報交換 ④首都圏展示会（食品開発展）への出展 (2) 低利用資源を用いたヘルスケア素材の全国展開 ①大手ヘルスケア素材企業とタイアップした機能性エキスの開発 ②県外飲料メーカーを介した機能性表示甘酒の全国展開 ③機能性表示食品届出支援と甘酒への利用 (3) 県内大手企業から排出される食品製造副産物（廃棄物）を資源循環大豆くず等のコンポスト化と発酵熟利用					

事業名	アンテナショップ運営事業			担当	調整・食品振興チーム	
事業年度	平成23～	事業主体	県	当初予算額	82,835 千円	
事業目的	東京と福岡のアンテナショップの情報発信機能の充実や県産品の販売拡大を図るため、店舗を利用したイベント等を開催する。			財源	諸収入	54,821 千円
				内訳	一般	28,014 千円
実施内容	1 東京アンテナショップ運営事業			80,961千円		
	(1) 店舗賃料 (2) アンテナショップの運営強化 ①運営協議会への参加（2か月に1回） ②衛生管理講習会（年4回） ③店舗改善講習会（年2回） (3) アンテナ機能の充実強化 ①客層の拡大や来場者を増大させるためのイベントの開催 ア 季節の物産・観光PRイベント:収穫祭、冬祭り、周年祭（令和5年10月、令和6年1月、3月） イ 京急あきたフェア連動イベント（令和5年10月～11月） ウ あきた美彩館企画事業（令和5年11月～12月） 秋田の「食」「物産」「観光」の情報発信とあきた美彩館への誘客促進のため、企画事業を実施 ②店舗サイン掲出広告 (4) 店舗維持・修繕					
	2 福岡アンテナショップ運営事業			944千円		
実施内容	(1) アンテナショップの運営強化 (2) アンテナ機能充実強化 試飲販売会の開催や県産酒頒布会の実施等					
	3 アンテナショップの今後のあり方検討事業			930千円		
アンテナショップの今後のあり方検討委員会の開催 (1) 開催回数 4回予定 (2) 検討事項 アンテナショップの今後のあり方、課題解決に向けた取組の方向性、求められる機能						

事業名	秋田の食ビジネスチャンス拡大事業			担当	まるごと売込みチーム	
事業年度	平成30～	事業主体	県	当初予算額	9,340 千円	
事業目的	県産食材を一堂に集めた「県産食材マッチング商談会」や、新たな特産品の開発をPRする「あきた食のチャンピオンシップ」を開催し、全国の食品バイヤー企業とのマッチング機会を創出する。			財源	一般	9,340 千円
				内訳		
実施内容	1 県産品ビジネスチャンス拡大事業			7,287千円		
	県内最大級の“食”の商談会を開催し、全国の食品バイヤー企業とのマッチング機会を創出し販路拡大を図る。 (1) 開催時期 令和5年7月13日 展示商談、予約個別商談（※オンライン一部含む） (2) 開催場所 秋田市 (3) 出展者数 100社程度 (4) 来場目標 食品バイヤー企業 200社（県内外の卸・量販店・小売等バイヤー、ホテル飲食店関係）					
実施内容	2 あきた食のチャンピオンシップ開催事業			2,053千円		
	「あきた食のチャンピオンシップ2023（第43回特産品開発コンクール）」を開催し、新たな秋田の顔となる商品を選考し、受賞商品の販路拡大を図る。 (1) 募集期間 令和5年4月下旬～5月31日 (2) 審査会 令和5年6月15日 (3) 表彰状授与 令和5年6月29日 (4) 募集部門 加工品部門、菓子・飲料部門の2部門 (5) 受賞内訳 総合グランプリ 両部門合わせた全体から1点 部門金賞 各部門から1点（計2点） 奨励賞 両部門合わせた全体から3点 若手奨励賞 各部門から1点（計2点） 全8点					

事業名	アキタノ“食”まるごと売込み事業		担当	まるごと売込みチーム
事業年度	令和5	事業主体	県、民間事業者	
事業目的	県内食品事業者における商品開発力や営業力、ニーズ対応力などの競争力を強化するとともに、首都圏等の県外市場への参入拡大を図る。		財源	17,175千円
			諸収入	18千円
			一般	17,157千円
実施内容	1 業界団体と連携した首都圏等販路開拓事業		12,188千円	
	スーパーマーケット等中小規模の食品小売業に精通する全国的な業界団体との連携により、県内食品事業者の商品開発力や営業力の強化を図り、首都圏等大消費地に向けた販路開拓を支援する。 (1) 実施時期 令和5年7月～6年3月 (2) 実施対象 県内事業者90社程度（県産食材マッチング商談会出展者） (3) 事業内容 ①県主催商談会での商品、営業力の審査 ②県内食品事業者向けに販路拡大に関連するセミナーを開催 ③個別指導の実施 ④首都圏展示会等へ出展			
実施内容	2 県産食品マッチング拠点の開設		4,987千円	
	本県食品産業の加工・流通・販売を総合的にマネジメントできる専門知識・経験を有する人材を雇用し、多様なニーズに対応するマッチングコーディネートを実施する。 (1) 設置場所 総合食品研究センターに食のあきたマッチング推進員1名を配置 (2) 活動内容 ①県内外の商品ニーズの情報収集 ②ニーズに対応する商品改良の支援 ③生産能力・技術の補完、県内食品事業者等連携の検討・調整 ④商流・物流の対応検討等 (3) 業務連携 総合食品研究センター（商品改良の技術指導など） 食のあきたマッチング推進員（販路開拓に伴う事業拡大に向けた支援など）			

事業名	オール秋田で世界へ挑戦！産学官連携輸出促進プロジェクト		担当	調整・食品振興チーム
事業年度	令和4～6	事業主体	県、民間事業者	
事業目的	海外で物産展や商談会を開催するなど、食品事業者と連携しながら本県の食と観光を一体的に売り込むことにより県産品の輸出拡大を図る。		財源	32,011千円
			国庫	8,858千円
			一般	23,153千円
実施内容	1 地域商社と連携した共同配送事業		12,931千円	
	(1) 台湾 ①台湾現地コーディネーターによる販路開拓 ②県産品フェアの開催 ③現地展示会への出展 ④県内地域商社の育成を志向した共同配送による輸出 (2) 中国 ①現地ECサイトでの販売 ②展示会への出展等			
実施内容	2 大学等と連携した欧州向けブランディング事業		17,677千円	
	(1) フランス ①現地商談会の開催等 ②国際教養大学の学生と食品事業者の連携による商品PR素材の作成 (2) フィンランド ①現地商談の開催等			
実施内容	3 北東北三県・北海道ソウル事務所物産共同事業		1,403千円	
	(1) 韓国 ①輸入商品展示会への出展 ②バイヤー招へいによる商談会の実施			

事業名	旨し国Akita誘客促進事業		担当	調整・食品振興チーム	
事業年度	令和5	事業主体	県、民間事業者など	当初予算額	30,105千円
事業目的	本県の食の魅力を発信し、観光誘客につなげるとともに、食の観光資源化を推進し進め、本県の食を求めて訪れた観光客の満足度や再訪意欲の向上を狙う。		財源	一般	30,105千円
実施内容	<p>1 食の周遊化促進事業</p> <p>(1) 食の周遊化誘客戦略会議 食や観光に関わる有識者を招集し、食の周遊化促進に係る意見交換を行う。</p> <p>(2) 隠れた麺王国あきたのPR 隠れた麺王国である秋田県のPRのため、全国的に著名な旅雑誌等に本県の麺文化を掲載する。</p> <p>(3) 「あきたカモシドコロ」受入環境整備促進事業 「あきた発酵ツーリズム」の推進拠点となる施設において、地域の観光振興施策と連動させ国内外から観光客を呼び込む大規模なプロジェクトの立ち上げを支援する。</p> <p>2 食と観光の情報発信推進事業</p> <p>(1) 食と観光の情報発信強化</p>			28,384千円	
					1,721千円
					あきた発酵ツーリズムWebサイト「本日あきた発酵中。」のコンテンツを強化し、他県の類似サイトとの差別化を図る。

事業名	絶品AKITAプロモーション事業		担当	まるごと売込みチーム	
事業年度	令和5	事業主体	県、民間事業者	当初予算額	18,641千円
事業目的	首都圏の大消費地において、秋田で育まれた食材の魅力と奥深さを体感してもらうことで、県産食材の認知度向上や需要拡大を図るとともに、冬季の観光誘客に結びつける。		財源	一般	18,641千円
実施内容	<p>1 「絶品AKITAを愉しむ会」の開催 食材のこだわりや背景などのプレゼンテーションとともに秋田の食を楽しむイベントを開催する。</p> <p>(1) 実施時期 令和6年1月予定(1日間)</p> <p>(2) 実施場所 首都圏のホテル</p> <p>(3) 内 容 県産食材や郷土料理のアレンジと県産酒のペアリング 観光PRブース及びステージイベントの実施</p> <p>2 「絶品AKITAグルメ」の提供 「絶品AKITAを愉しむ会」の開催時期に合わせて県産食材を使用した料理を提供する。</p> <p>(1) 実施時期 令和6年1月予定(1か月程度)</p> <p>(2) 内 容 「絶品AKITAを愉しむ会」の会場ホテル内飲食店とタイアップ 県産食材を使ったメニュー開発</p>				



## 令和5年度総合食品研究センター職員数及び試験研究課題

### 1 総合食品研究センター職員数

場 所 名	総 数	内 訳		
		事 務	技 術	現 業
総合食品研究センター 企画管理室	10	3	7	0
総合食品研究センター 食品加工研究所	8	0	8	0
総合食品研究センター 醸造試験場	10	0	10	0
計	28	3	25	0

### 2 令和5年度 試験研究課題

課 題	研究期間	予算区分
(政策研究)		
1 生産地加工における農林水産物の高付加価値化	令4～6	国・県
2 花卉の食品利用技術開発	令5～7	県
3 新規麹菌を用いた新たな秋田オリジナル甘酒の開発	令4～6	国・県
4 輸出向け発酵調味料の開発	令5～6	県
5 秋田の清酒業界がポストコロナを生き延びるための革新的清酒製造技術開発	令3～5	国・県
6 新しい生活様式に対応した低アルコール及び複合型アルコール飲料の開発	令4～6	国・県
7 美の国からのヘルス&ビューティフーズ発信	令3～5	国・県
8 ライフステージに応じた機能性食品の開発	令4～6	国・県
9 麹菌におけるゲノム編集育種の基盤構築	令5	県